

3 月中間報告書

はじめに

支援者の皆様へ。

春寒次第に緩み、ますますのご繁栄の事をお喜び申し上げます。このたびは、我々山梨大学学生フォーミュラ部の3月における活動報告をさせていただきます。

2月に引き続き、3月は来月初めまで大学は春季休暇となりました。製作に利用できる最も重要な時期でありました。中旬に発生しました東日本大震災とそれを起因とする計画停電をはじめとした様々な障害に見舞われてしまいました。材料等の発注に遅れがみられる、大学構内の設備が一部が使用することができなくなるなど、弊部の活動にも問題が生じております。このため製作活動にも大きく支障をきたしておりますが、当面は大会出場を目指し、部員一同尽力する所存です。



3 月活動報告

➤ 今月の車両製作

・ ボディ製作開始

先月21日より、昨年同様FRPを使用した11年度車両に対応したボディの製作が始まりました。例年よりも数週間早い始まりとなりましたが、今年度は並行して山梨大学工学部附属ものづくり教育実践センターに属しているものづくりプラザの一角をお借りしてSolidWorksの位置機能を利用したモデル外部の流体から得られる影響等の考察を行っております。これによって、より工学的な根拠を含んだ完成度の高いボディ形状の成型を目指します。

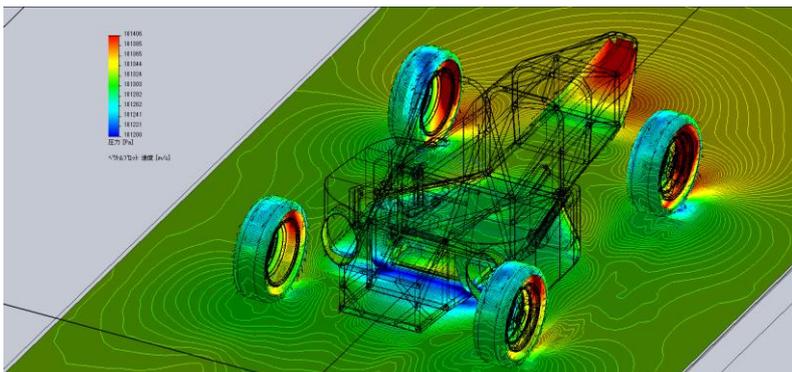


図 1 ボディの流体計測



図 2 製作中のボディ型

- ・ 実験用サージタンク製作

先月新たにスズキ自動車様から提供していただいたエンジンの稼働試験の下準備として、各気筒に吸気を行うサージタンクの製作を始めました。今回は“実験用”と銘打ち、実際に使用するサージタンクとは若干異なる仕様での製作となっています。片面に不透明度の高いアクリル板を使用し、内部の流体の様子を観察できるようにする予定です。



図 3 離型したサージタンク

- ・ 金属加工

今月もフレームを構成する鉄パイプの端面出しに重点を置いての加工となりました。ほとんどの端面出しは終了し、サスペンションなどの他の金属部品の製作にも取り掛かっています。

- サンキン株式会社様からの鉄パイプのご支援

22 日、サンキン株式会社様から提供していただいた鉄パイプが大学に届きました。ご支援ありがとうございます。今後とも、ご支援とご声援をよろしくお願いいたします。



図 4 提供していただいた鉄パイプ

➤ 榛葉鉄工所での溶接実習

31日、静岡県掛川市の榛葉鉄工所で金属溶接のご指導を受けに行きました。技術支援ありがとうございました。以降の車両製作に活かしていきます。今後とも、ご支援とご声援をよろしくお願いいたします。



図5 榛葉鉄工所での溶接実習

おわりに

春期休暇も終わり、また大学での講義が始まります。2月・3月ほど自由に時間を取れなくなるでしょうが、一日でも早い車両の感性と大会への出場、そして好成績を目指し、数々の不自由に負けない強い車両を作り上げられるよう誠意努力を続けていきます。これからもご支援とご声援をよろしくお願いいたします。

山梨大学学生フォーミュラ部 一同